

知泉書館

出版案内

2025.1 ver. 64

新刊

- パイデイア（下） ギリシアにおける人間形成〔知泉学術叢書34〕
- アラビア哲学からアルベルトゥス・マグヌスへ 一神教的宇宙論の展開
- 13世紀の自己認識論 アクアスパルタのマテウスからフライベルクのディートリヒまで〔知泉学術叢書18-2〕
- ヘーゲル『精神哲学』の基底と前哨
- バークリ 記号と精神の哲学
- シェリング自然哲学とは何か グラント『シェリング以後の自然哲学』によせて
- キリスト教文化のかたち その思想と行動様式を学ぼう
- 親和的感性に拠る知と相生 愛と醜悪の間にて
- 変革する12世紀 テキスト／ことばから見た中世ヨーロッパ
- 世阿弥の「花」を知る 能楽論と謡曲を通して
- 中国の秘密結社と演劇
- 北朝鮮の内部文書集 第1巻 ソ連軍政期—建国初期
- 中世思想研究 第66号／西洋中世研究 第16号／経済学史研究 66巻1号

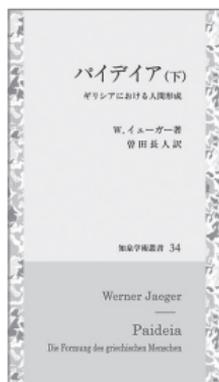


Ad fontes Sapientiae

〒113-0033 東京都文京区本郷1-13-2
Tel : 03-3814-6161 / Fax : 03-3814-6166
<http://www.chisen.co.jp>

*表示はすべて本体価格です。消費税が別途加算されます。
*これから刊行するものは時期・タイトル等を変更する場合があります。

パイデア (下) ギリシアにおける人間形成



ISBN978-4-86285-425-4
新書判632頁・5500円

W. イェーガー著／曾田長人訳〔知泉学術叢書34〕通巻35
ギリシア人の教養と理想的な人間像が相互に作用しつ
つ形成される経緯を描いた、イェーガーの古典的名著
『パイデア I-III』(1934-47)を訳出した待望の書。
本巻では第Ⅲ部「偉大な教育者と教育体系の時代」の
後半を収録し、ここに全3巻の日本語訳が完結する。

【目次】 第Ⅲ部 偉大な教育者と教育体系の時代—後半 イソク
ラテスの弁論・修辞術とその教養理想 政治的な教養と国民的な
理念 君主の教育 急進的な民主主義における権威と自由 イソ
クラテスによる自らのパイデアの擁護 クセノポン プラトンの
『パイドロス』:哲学と弁論・修辞術 プラトンとディオニュシオ
ス:パイデアの悲劇 プラトンの『法律』 デモステネス

アラビア哲学からアルベルトゥス・マグヌスへ 一神教的宇宙論の展開

小林 剛著

アルベルトゥス・マグヌス独自の形而上学「流出流入
論」とは、アラビア哲学で新プラトン主義的に解釈さ
れたアリストテレス主義に触発されて一神教哲学を構
築し、後に絶大な影響を与えた体系化の試みである。
神学と哲学を統合するスコラ学の形成に深く関わる。

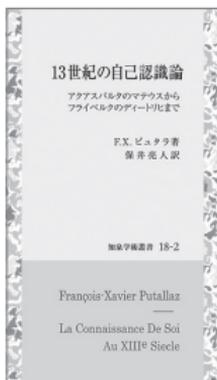
【目次】 アリストテレス『形而上学』第十二卷第七、九章における神
アヴェロエス『矛盾の矛盾』における神認識 アヴェロエス『矛盾の
矛盾』における天体の動者 アルベルトゥス宇宙論におけるア
ヴェロエス受容 アルベルトゥス流出流入論 付論・アルベル
トゥス『原因論』註解における神名論

ISBN978-4-86285-417-9
A5判190頁・3200円



13世紀の自己認識論

アクアスパルタのマテウスから
フライベルクのディートリヒまで



ISBN978-4-86285-419-3
新書判816頁・7200円

F.X. ピュタラ著／保井亮人訳 [知泉学術叢書18-2] 通巻34

本書は『トマス・アクィナスの自己認識論』の姉妹編である。13世紀の自己認識についてのさまざまな論争を考察し、わが国では知られていない多くの情報を提供する。さらに多様な論説に近世の問題意識が現れており、中世と近世をつなぐ貴重な文献である。

【目次】 アクアスパルタのマテウス 自己の直接的認識, 他 ベトルス・ヨハネス・オリヴィー アリストテレスの主張する間接的認識に抗して, 他 ロジャー・マーストン トマス思想の批判, 他 サットン・トマス 形象を通じた自己認識, 他 フォンテーヌのゴドフロワ 知性の自己認識, 他 フライベルクのディートリヒ 自己認識から派生する諸問題, 他 結論 自己認識の逆説 自己の対象化 自己認識の展開 解説

ヘーゲル『精神哲学』の基底と前哨

栗原 隆著

ヘーゲルはいかにして「哲学者ヘーゲル」となったのか。17・18世紀のさまざまな書籍や雑誌、新聞など多様な資料のデジタルアーカイブを活用し、同時代人の眼を手に入れてヘーゲルの哲学的経験や人間模様、さらに思想的交流を通じて、生きたヘーゲル像を描く。

【目次】 哲学への旅立ち 少年ヘーゲルと解釈学のモチーフ シェリングとチュービンゲン神学校での解釈学 導入教育と心理学 ヘーゲル哲学の前哨 ドイツ観念論におけるスピノザ主義 一者の影 自然と生命 精神哲学の基底 自然の詩情と精神の忘恩 『精神哲学』の基底と前哨 心の深处と知性の堅坑 精神哲学の源泉 変容と進展 物語の内化と心の表出色と心 精神哲学の行方 精神の現象学と精神の解釈学 『精神哲学』の豊かさ とハイデルベルク



ISBN978-4-86285-418-6
A5判378頁・5400円

バークリ 記号と精神の哲学

竹中真也著

記号はバークリの哲学にとって感覚と知性を結び付ける重要な役目を果たす。経験論の哲学者とされてきた従来像を破壊して、自然学から形而上学へ新たな理解をもたらし、バークリのさまざまな学問的営為を「記号理論」により体系的に捉えなおした意欲的業績。

【目次】 バークリ哲学の基礎原理「記号理論」について 「抽象一般観念」への批判 記号における「代理する(represent)」 記号における「示唆する(suggest)」 観念の記号的表現性 言語の「意味(signification)」 自然学から精神の形而上学へ 粒子説 原因 精神の能動と受動 神の精神 「思念」と「イデア」 「一」と「三位一体」 バークリのキリスト教的プラトン主義 結論



ISBN978-4-86285-415-5
A5判342頁・5200円

シェリング自然哲学とは何か

グラント『シェリング以後の自然哲学』によせて

松山壽一著

近年のシェリング自然哲学への高い関心はグラントの著作が端緒である。本書の前半はグラント説と対応する著者自身の三論文、後半はグラント書の魅力と意義を紹介し、著者の疑問を提示。シェリング自然哲学と近代科学研究に長年携わった著者による提言の書。

【目次】 シェリング自然哲学の成立 対立者の合一 予定調和自己意識の歴史 根源力と力動 カント動力学批判 重力 ルサーージュ自然学批判 力動論 自然哲学のアクチュアリティ 科学哲学と自然哲学 近代科学と自然哲学12 現代科学と自然哲学 シェリング以後の自然哲学 万有の自然学と万物の自然学 精神の自然史 超越論的地質学 グラントのシェリング自然哲学 解釈の問題点 「精神の自然史」 「超越論的地質学」 ドゥルーズ



ISBN978-4-86285-414-8
四六判232頁・3200円

キリスト教文化のかたち その思想と行動様式を学ぼう

金子晴勇著

近代日本はヨーロッパをモデルにして、市民生活から生産技術、学問と教育など多岐に渡り展開した。欧米人が基礎教養として身に付けてきた行動様式の由来や、キリスト教文化が人々の生活を高めてきたさまざまな経緯を深く知るために必読の一書。

【目次】キリスト教文化とは何か 宗教と文化 キリスト教の歴史の成立 キリスト教と異文化との接触 キリスト教文化のかたち 教会と文化 キリスト教とは何か 創造思想 契約思想 宗教思想 倫理思想 社会倫理 宗教的霊性 キリスト教と日本文化 東西の霊性(信仰)についての比較 日本人倫組織とキリスト教 恥の文化と良心の文化 愛の諸相 教養・教育・死生観



ISBN978-4-86285-423-0
四六判238頁・2300円

親和的感性に拠る知と相生 愛と醜悪の間にて

宮本久雄著

愛の親和性の働き（エヒイエ）と時熟（カイロス）による親和的感性の成立を通して相生の地平を拓く。古代から現代までの宗教と思想の多様な営みを分析して、伝統的な神概念の壁を超えて、真の救いと恵みに出会う世界を親和的感性の媒介により発見する試み。

【目次】親和的愛の認識から始める アウグスティヌス トマス マリタン 『雅歌講話』旧約聖書が語る美・愛と醜悪の実相 創世記 出エジプト記 ホセア エレミヤ 第二イザヤ 新約聖書が語る美・愛と醜悪の実相 罪の女 姦通の女 香油の注ぎ 新約以降のキリスト教における典礼的修道的な展開 神学的典礼的展開 教会協働体現成の核心 修道生活・修道制の成立と展開 ギリシア哲学とキリスト教における親和と醜悪 古典ギリシア 近世以降



ISBN978-4-86285-421-6
四六判224頁・2700円

変革する12世紀

テキスト／ことばから見た中世ヨーロッパ

岩波敦子著

12世紀ルネサンスにおける地理的かつ知的グローバリゼーションは、人々の意識や社会に新機軸をもたらした。行政文書である皇帝・国王・司教証書の分析を通し、文書化の躍進の中に時間意識の変化を読み解く。文書メディア論に挑んだ西洋中世史の先駆的業績。

【目次】 革新の世紀への布石 伝統と新機軸の相克—君主・諸侯・都市の時代 ことばを操る人たち 君侯を描く、君侯が描く—文書メディアと君侯たち グローバル・ネットワークの形成と歴史叙述—史実とフィクションの狭間で グローバル・リーダーたちの12世紀 結びにかえて—史料の声を聴く



ISBN978-4-86285-416-2
菊判488頁・6200円

世阿弥の「花」を知る

能楽論と謡曲を通して

鈴木さやか著

日本の文芸論において、自然の呼びかけに応答した人々の美しい心を表わしてきた「花」の伝統を踏まえた世阿弥の二十数編に及ぶ能楽論と謡曲について、全体としての文脈を吟味しその基本構造を解明する独自の試み。「花」の自己変容と生のあり方を探究する。

【目次】 世阿弥の能楽論 「序破急」の成り就く構造 能の展開と心 花の成就と自己変容 可能性の総体としての「能」 世阿弥の謡曲—「野宮」「松風」考—「恋慕」と「狂」「忠度」考—「花こそ主なりけれ」の意味をめぐって 「八島」考—「生死の海」と「真如の月」「井筒」考—「心の花」の成就 「野宮」考—森と心との変容、甦りをめぐって おわりに—「年々去来の花」への眼差し



ISBN978-4-86285-420-9
A5判308頁・5500円

中国の秘密結社と演劇



ISBN978-4-86285-422-3

菊判456頁+

口絵4頁・6000円

田仲一成著

中国の秘密結社「青幫」「紅幫」はどのように誕生し、演劇とどのように結び付いたのか。日本軍による当時の調査資料と著者の現地調査に基づき、演劇を巡る社会構造を分析する先駆的業績。当時の壮絶な人物伝をも伝えて、陰の中国近現代史としても魅力的な作品。

【目次】 上篇 青幫と演劇の関係 「青幫」の沿革と組織 民国期上海の青幫 青幫人物小伝 上海青幫と上海劇壇 上篇結語・上海劇壇が青幫と関係を持つ社会的背景 下篇 紅幫と劇界 南洋における天地会会党 シンガポールに残る天地会の遺風 香港に残る天地会の遺風 天地会会党と演劇 総結・中国の秘密結社と皇帝権力 附録Ⅰ・青幫主要人物伝記資料 附録Ⅱ・潮州歌冊「吳忠恕全歌」8巻

北朝鮮の内部文書集 第1巻

ソ連軍政期—建国初期



ISBN978-4-86285-424-7

A5判528頁・7200円

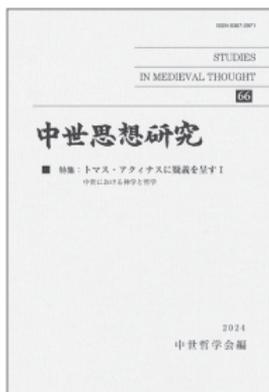
木村光彦編訳

朝鮮戦争時に北朝鮮で捕獲した大量の内部文書から北朝鮮の実情を知る文書を選び、邦訳編集した。全体を四編に分け、Ⅰ 共産党・諸組織、Ⅱ 保安、Ⅲ 土地改革、Ⅳ 農業・糧政、として紹介・解説した。ソ連軍政期の実態と共産党主導の組織活動と政治経済事情を解明。

【目次】 解説 共産党・諸組織 綱領 朝鮮共産党嶺南浦市委員会, 他(計39項) 保安 事業報告書 平安北道人民委員会司法部, 他(計15項) 土地改革 [土地改革に関する要請] 北朝鮮農民聯盟, 他(計27項) 農業・糧政 肥料配・割] 当の件 瑞和面農民委員長, 他(計63項)

中世思想研究 第66号

特集：トマス・アクィナスに疑義を呈すⅠ



中世哲学会編

【目次】 論文 『三位一体論』における神の似像の歪みの回復と神を認識することについて(小沢隆之)／美が超越概念であることは何を意味するのか(石田隆太)／『聖務の理論』における象徴理論(坂田奈々絵)／クザーヌスにおける否定性理解の究明へ向けて(長町裕司) 特集：トマス・アクィナスに疑義を呈すⅠ—中世における神学と哲学 (企画の趣旨・小林剛／阿久戸義愛／辻内宣博, 司会報告・辻内宣博) 無からの創造—ニュッサのグレゴリオス, エリウゲナ, アンセルムス(藤本温)／無からの創造は哲学的に証明可能か—トマス・アクィナス, アラビア哲学, アルベルトゥス・マグヌスに即して(小林剛)／フライベルクのディートリヒにおけるトマスの聖体論批判—付帯的なものはそもそも実体なしに存在することは可能なのか(山崎達也)／トマスの立場とトマスへの立場(川添信介) 書評・文献紹介 (宮島舜／神田愛子／高石憲明／阿部善彦／菊地智／志田雅宏／アダム・タカハシ)

ISBN978-4-86285-968-6
菊判178頁・3500円

西洋中世研究 第16号

特集：危機を前にした人間

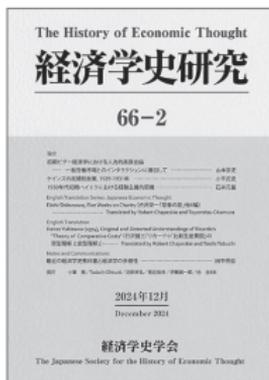


西洋中世学会編

【目次】 特集：危機を前にした人間—西洋中世における環境・災害・心性 (序文) 危機を前にした人間(小澤実)／(論文)脆弱な主体(アダム・タカハシ)／アングロ・サクソン時代の危機管理(唐澤一友)／紀元千年転換期におけるグローバルな終末？(ヨハネス・ブライザー＝カペラー [小澤実訳])／女性と身体という危機(後藤里菜)／グローバル気候(ブルース・M・S・キャンベル [内川勇太訳])／疫病と美術(今井澄子) 論文 道化服の機能(森下勇矢) 史料紹介 16世紀ネーデルラントの神秘主義的論述『福音の真珠』(Die evangelische perle)(菊地智) 論文 彙報 シンポジウム報告「薬を語る・薬を知る」(久木田直江)／2023年度若手セミナー報告「西洋中世学研究者のためのデジタル・ヒューマニティーズ入門」(櫻田宗紀・土佐真理子・村松綾)／2024年度若手セミナー報告(大貫俊夫・後藤里菜・古山直美・畠山翼・富永龍太)

ISBN978-4-86285-969-3
B5判218頁・3500円

経済学史研究 66巻2号



経済学史学会編

【目次】 論文 初期ビゲー経済学における人為的高賃金論—一般労働市場とのインタラクシオンに着目して(山本崇史) ケインズの高関税政策, 1929-1931年(小平武史) 1930年代初期ハイエクにおける経験主義的契機(石井元基) English Translation Series: Japanese Economic Thought <4> Eiichi Shibusawa, Five Works on Charity (洪沢栄—「慈善の話」他4編), with an Introduction by Toyomitsu Okamura (Translated by Robert Chapeskis and Toyomitsu Okamura) English Translation Kenzo Yukizawa (1974), Original and Distorted Understandings of Ricardo's "Theory of Comparative Costs" (行沢健三「リカードウ「比較生産費説」の原型理解と変型理解」), with an Introduction by Taichi Tabuchi (Translated by Robert Chapeskis and Taichi Tabuchi) Notes and Communications 最近の経済学史教科書と経済学の多様性(田中秀臣) 書評 (小峯敦/Tadashi Ohtsuki/池田幸弘/尾近裕幸/伊藤誠一郎/森岡邦泰/橋本直樹/石井稔)

ISBN978-4-86285-970-9
B5判168頁・3000円

ボーヴォワールとサルトル

実存思想論集
XXXIX (39号)

実存思想協会編

【目次】 ボーヴォワールとサルトル 趣意文(小島優子)/アンチ・アンチ・エイジング—ボーヴォワール「老い」を読む(上野千鶴子)/サルトルの晩年様式—実存と老い(澤田直)/哲学における老いについて—ボーヴォワールとヘーゲルを比較して(小島優子)/サルトルの「老い」—晩年の三つの対話から(竹本研史) 応募論文 ゲオルク・ジンメル のニーチェ「高貴性」解釈—社会的実存と人類的理想(藤谷正太)/形式的告示と「本質的に偶因的な表現」—事実的生の三つの意味的方法的使用(山崎諒)/丸亀周造における「実存」の問題—オスカー・ベッカーの「被担性」を手がかりに(上田瑞季)/レヴィナスの「ユダヤの実存」論—「現存在か」か」という問題系から(若林和哉) 書評 鈴木祐丞著『〈実存哲学〉の系譜』(須藤孝也)/編集・校閲 伊藤直樹・大石学・的場哲朗・三浦國泰『デイルタイ全集 第十一卷 日記・書簡集』(山本英輔)/秋富克哉著『ハイデッガーとギリシア悲劇』(関口浩)/嶺秀樹著『絶対無の思索へ』(秋富克哉)/太田裕信著『西田幾多郎の行為の哲学』(相楽勉)/鬼頭葉子著『動物という隣人』(茂牧人)/梶谷真司著『問うとはどういうことか』『書くとはどういうことか』(川崎惣一)

実存思想論集 XXXIX
ボーヴォワールとサルトル

実存思想協会編

ISBN978-4-86285-966-2
A5判224頁・2000円

(再録)

ヨーロッパ思想史入門 歴史を学ばない者に未来はない

金子晴勇著

ISBN978-4-86285-412-4 四六判276頁・2300円

ヘレニズム、ヘブライズム、ゲルマニズムを三つの柱としたヨーロッパ文化の思想について、難しい概念を読み解き、古代から現代まで人々がどのように日常と思索の世界を生きていたのか紹介する。さらに文学作品を通してヨーロッパ思想の多様性を学ぶ。

パイデア (中) ギリシアにおける人間形成〔知泉学術叢書31〕

W. イェーガー著／曾田長人訳

ISBN978-4-86285-408-7 新書判846頁・6500円

ヨーロッパ文化が長く模範としてきたギリシア古典古代は、国家の構成員をどのように教育することを目指したのか。ギリシア人の教養と理想的な人間像が相互に作用しつつ形成される経緯を描いた、古典的名著の待望訳。本巻では、プラトンの教育哲学を扱う。

教理講話〔知泉学術叢書32〕

新神学者シメオン著／大森正樹・谷隆一郎訳

ISBN978-4-86285-410-0 新書判552頁・6300円

10-11世紀に活躍したビザンティンを代表するシメオンが、修道士たちに向けて霊性を高めるために行った膨大な講話の数々を全訳。神との対話を通して生み出されたシメオンの言葉は深い知恵に裏付けられ、現代のわれわれにも宗教を超えた示唆を与える。

デカルト小品集「真理の探求」「ピュルマンとの対話」ほか〔知泉学術叢書33〕

山田弘明・吉田健太郎編訳

ISBN978-4-86285-411-7 新書判372頁・4000円

デカルトの『真理の探求』『ピュルマンとの対話』など、小さいながら主要著作にも劣らない独自の内容をもつ小品と関連資料を集めた。さらに訳者による各テキストの詳細な解題と最新研究を反映した「デカルト小伝」、基本文献をまとめた「文献案内」も収録した。

ヘーゲル全集 第6巻 イェーナ期体系構想Ⅱ 論理学・形而上学・自然哲学 (1804/05)

責任編集 座小田豊

ISBN978-4-86285-413-1 菊判824頁・10000円

のちの『精神現象学』、『エンツュクロペディー』で展開する学の体系化へと繋がっていく、独創的で豊かな思索の発展の原点を示す「体系構想」。「無限性」などのヘーゲル哲学の重要概念を発展的に展開した1804/05年の手稿と、詳細な解説、充実した索引を収録。

マックス・シェーラー 思想の核心 価値・他者・愛・人格・宗教

金子晴勇著

ISBN978-4-86285-409-4 四六判266頁・2300円

カント人間学を批判し、現代人間学の基礎となる新たな人間学を確立したシェーラー。人間科学の諸成果を導入し理性だけに偏らない心情や情緒、問-主観的な愛の領域と人格、道徳など生ける真理の探究者として人間を総合的に考察したシェーラーの全体像を紹介。

ヘーゲル全集 第8巻2 精神現象学Ⅱ 責任編集 山口誠一

ヘーゲル全集 第19巻 抜粋・メモ (1785-1800/1809-31) 責任編集 大野達司・山本卓・日中鎮朗・山口誠一

ルネサンス教育論集 〔知泉学術叢書〕 ヴェルジェリオ／ブルーニ著
ピッコロミニ／グアリーノ著
加藤守道・伊藤博明・河合成雄訳

ニコル・オレーム『貨幣論』とその世界 〔知泉学術叢書〕 金尾健美訳

ライプニッツの最善世界説 〔知泉学術叢書〕 酒井潔・長綱啓典監訳

シェリング講義 同一哲学の鍵としての「反復的同一性」〔知泉学術叢書〕 M. フランク著／久保陽一・岡崎秀二郎・飯泉佑介訳

ハイデgger＝リッカート往復書簡 1912-1933 〔知泉学術叢書〕 A. デンカー編
渡辺和典訳

デカルトの知性主義 分析的方法の精神化とその基づけ 小沢明也著

意味と時間 フッサールにおける意味の最根源への遡行 高野 孝著

山田晶 倫理学講義（全五巻） 山田晶著／小浜善信編

生命操作と人間の尊厳 田坂さつき編

霊性の人間学 金子晴勇著

穀物輸出の代償 服部正治著

経済科学の曙 政治算術家ウィリアム・ペティとその時代 大倉正雄著

北朝鮮の内部文書集 第2巻 ソ連軍政期—建国初期 木村光彦編訳

中国古代の淫祀とその展開 工藤元男著

中国書道史 辻井京雲著／下田章平編

和田三造の生涯 加藤耀子著

哲学 第76号 日本哲学会編

実存思想論集 第40号 実存思想協会編

ごあいさつ

株式会社知泉書館は、2001年6月に設立されました。出版界を取り巻く環境はことのほか厳しく、あえて逆風をうけての船出です。いままでの経験を生かし、新しい環境のなかで意義ある仕事ができるようベストを尽くす所存です。

かえりみれば、近代以降のわが国の学問は諸外国、とりわけ西欧の影響のもとに形成され発展してきました。しかしこんにち、近代西欧をひとつのモデルとして邁進してきた学問的営為は、大きな節目を迎えています。さらに、現代の学問は世界的にも多くの未解決な難問に遭遇し、もはや外部に解決策やモデルを求める姿勢だけでは、真に創造的で有効な成果を生みだせない状況になっています。くわえて、創造的な知を培う研究・教育機関としての大学も、制度疲労と急激な環境変化にみまわれ機能障害に陥っています。

他方で、世界的な規模での情報の多様化とその基盤整備は、時間と空間をますます狭め、まるで世界がひとつになってゆくかのような、バラ色の未来像を描いています。しかし同時に、とくに科学技術の巨大かつ急速な革新が、自然環境に計り知れない影響と負担を強いていることもたしかです。そうしたなかで、社会の動きと人々の生のリズムとのあいだには強い緊張がもたらされ、新たな人間疎外ともいうべき社会病理現象を生みだしています。

このような時代認識をふまえ、また二度の世界大戦という負の経験をへた時代にあって、私たちは、人びとが真に豊かな生活を享受し、同時に世界の平和や福祉に貢献するためには、学術文化のいっそうの発展と交流こそが有効な道であると信じます。私たちの出版活動が、世界に開かれた教養形成のために、微力ながら役立ちうることを切に願っています。

前途多難な航海になることと思いますが、末永く皆さまのご支援とご協力を心からお願い申し上げます。